



スキーをすすること
出来なくなりました
でも神様ありがとうございました
あなたが寺おたせてくれた
たったナグラムの仕事です
と水で私は花を咲かせたり
雪を降らせたり出来るの
申様ほんとうに
ありがとうございます

土を掘りました
手と足が
不自由に
なると

冬の展示

平成29年12月12日(火) - 平成30年3月11日(日)

休館日 12月25日、29日、30日、31日、1月1日、2日、3日、9日、22日、2月13日、26日

開館時間 午前9時から午後5時まで

入館料 大人500円 小中学生300円 幼児無料 ※20名以上の団体、JAF会員・障がい者割引有り

会場 芦北町立星野富弘美術館 熊本県葦北郡芦北町大字湯浦1439-2 0966-86-1600

URL: <http://www.hoshino-museum.com>

冬の展示

一年で一番寒い季節、冬。

秋に別れを告げると、冬の眠りに就くために木々は葉を落とし、多くの草花は種子を残して地中に姿を隠します。

そんな中でも、厳しい寒さに耐えながら暖かい色の花を咲かせてくれる椿や山茶花、赤や紫など鮮やかに咲き続けるプリムラの花たちは、冬を彩り私たちを楽しませてくれます。

星野富弘の詩画作品にも、厳しくも美しい冬の色彩が表現されています。

本展では、冬の草花を題材とした作品を中心に、作品にまつわるエッセイを併せて展示します。

星野富弘の紡ぎ出す美しき白銀の世界をご堪能ください。



「雪の道」1986年



「さいせん」1986年



「椿の実」1986年



星野 富弘(ほしの とみひろ)

1946年、群馬県勢多郡東村(現みどり市東町)に生まれる。群馬大学教育学部卒業後、中学校の体育教諭になるが、クラブ活動(器械体操)の指導中、模範演技で空中回転したとき誤って頭部から転落。頸髄を損傷。首から下の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文や絵をかき始める。前橋で最初の作品展を開く。退院後、雑誌や新聞に詩画作品やエッセイの連載を始める。1982年、高崎で初の「花の詩画展」を開催以降、全国各地、また海外でも開催され、現在も続いている。1991年群馬県勢多郡東村(現みどり市東町)に富弘美術館開館。現在も詩画やエッセイの創作活動を継続中。著書多数。

○星野富弘美術館へのアクセス

【熊本方面から】

お車の場合：南九州西回り自動車道芦北ICから県道27号線経由国道3号線で芦北町湯浦へ。湯町交差点を右折し約1分。熊本市から約1時間30分。

電車の場合：肥薩おれんじ鉄道佐敷駅下車後、タクシーで約10分。もしくは、湯浦駅下車後、徒歩で約20分。熊本駅から約1時間50分。

【鹿児島方面から】

お車の場合：国道328号線及び国道3号線で芦北町湯浦へ。湯町交差点を左折し約1分。鹿児島市から約2時間30分。

電車の場合：肥薩おれんじ鉄道湯浦駅下車後、徒歩で約20分。鹿児島中央駅から約3時間。

